

2020/11/24-2

(うとQ世話し「冗談から駒」)

事業は

「資金が尽きたとき」「店舗がなくなった時」

が終わりではなく

「アイデアが出なくなった時」「冗談が出なくなった時」

が終わりだと思っております。

「瓢箪から駒」ではなく「冗談から駒」

「瓢箪から駒」というのは、瓢箪の形を見ると分かるのですが、二か所きゅっと締まっていて隘路 (bottle neck) が二つもあるようなところから、思いもかけない時に、思いもところから思いもかけないもの(それが四角い形をした「駒」です)が飛び出してくる事の譬えに使われております。

それを自分の事業に当てはめてみますと

「冗談から駒」

つまり「冗談」みたいに何の役にも立ちそうもないところにこそ、何かの大きなきっかけがある。ひどく迂遠なところにこそ発想の大転換を導き出すアイデアのヒントがあり、それが人知を超えて摩訶不思議な力を発揮する、みたいな感じでとらえております。

それで

「冗談から駒」

以上が「論理的且つ科学的根拠」(左記冗談)に基づく弊社モットーの由来でございます。

本日はお店の定休日ですので、短めに終わらせて戴きたく存じます。

謝謝。多謝。感謝

(三段リズム法)